

八戸市総合計画推進市民委

市の基本施策検証

8月に評価書提出

熊谷市長、委員に委嘱状

八戸市は22日、市の基本的な施策について効果を検証する総合計画等推進市民委員会の本年度初会合を市庁で開いた。第7次市総合計画や熊谷雄一市長の公約評価に向けて今後の審議内容を確認。8月に熊谷市長へ評価書を提出する。

本年度の会議は全9回。

人口減少問題の具体策を盛り込んだ、はちのへ創生総



熊谷雄一市長（右）から
委嘱状を受け取る委員

22日、八戸市庁

合戦略などに関する審議結果は9月に意見書として出す方針だ。

同日は公募を含む外部有識者ら10人の委員が出席。

委嘱状を交付した熊谷市長は「皆さんの意見を事業計画の見直しや立案に生かしていきたい」と述べた。

また、委員の互選により、委員長に堤静子八戸学院大特任教授、副委員長には宮腰直幸八戸工業大教授をそれぞれ再任した。

（藤野武）